



西洋人撰速譯本

萬國輿地圖說



雲峯閣藏梓

萬國輿地圖說

亞細亞洲總括

昭和四年七月一日
不詳元始



名義未詳を以て或曰厄勒祭亞國の語。中と
言て亞細と稱せ此洲歐邏巴洲亞弗利加洲の
中間ふありと以て名く又一説小亞細亞ハ神
と云神聖首出の卿故ふ尊て是稱あり猶神州
と云んが如く
此洲北ハ冰海ふ至り東ハ東海南ハ應帝海小斗
出一西ハ歐邏巴洲及バ亞弗利加洲小坂と接モ

卷

5

門ル2
號3287

其域を分て北中南の三大部とそ天度酷熱より
隆寒の地小亘り五穀蕃庶百貨皆具り人類肇
て生び一より聖賢遞小興る地ゆて其文物礼
樂の盛なること天下是より京々へり就中
本邦漢土とニ帝國と稱を其下王と稱せり者渺
々ぞ鬱州廣袤里方七十六萬三千餘民口五億
或曰六億五千萬

皇國○屬國○野作八丈琉球奧蝦夷薩哈連
漢土坤輿中の鉅邦なり分て二府十八省とく其

帝都と北京と云天下無二の大府なり人口三百
萬名譽の嘵嘵の如きも○咷哈喇都府の名○此
小轍をとば猶四と六のど其管轄する數國と
合をとば廣袤歐邇巴全洲小勝とり古昔歷山王
隆盛なるも猶及ばず惟魯西亞所領小一
等と讓るのみ然とども人民百貨の夥しこと
ハ御て其比倫小非ぞ鬱州民人一億四千五百四
十萬海陸軍卒三百八十萬產物金銀五穀繭絲大
黃麝麝香砂糖木綿等

大韃而韁此名蓋けい殆だいど中北亞細亞の總稱ぜうめいナウル
近世分きて三大部さんだぶとなる其部内又數國すうこくふ分ぶんる
各々主おもより其人じん強健きょうけんみて黒色濶眼くろいろくわん小目鬚鬚こめゆ
梳くし龐好ぼうがい田獵でんりゃくと事こと又能またく馬上に長槍ながやりと使
ふ氣候總て寒其國主と尊稱そんしめいして大汗だいかんと云其一
部漢土かうど小服属こうふくしゆ者ものと支那韃靼しなたつたつと云中又五種
ふ分ぶんる其別左の如ごとく

朝鮮八道大縣三十三小縣一百廿八又分つ人
民頗ひら々蕃庶五穀其食くしょくは給あたは國王こくおうあり支那小

臣服しんぷを土人どじん柔和じゅわみて能く漢字かんじと解かいそ其都
と京と云部中鴨綠江あづらがとうあり支那及び滿州まんしゅうと壤
と割わりを闔州廣袤里方六千民口五百萬餘土產
金鐵米麥こゝ人參

滿州東ハ黒龍江又劃わ一北ハ雅克薩城ヤクサ城じゆ小至り
魯西亞所領と境壤きょうりょうと接せつモ域中三大府あり弟
一と遼東りょうとうと云清の世祖及び太宗の廟廟あり造
築美麗びれい府中四大廳しほうと閑ひまを訴訟そそうと聽きく土人能
く繭紙ねぎと製せい毛もう久き小堪山第二と吉林

と云清の大總官の鎮あり人煙寡少第ニと第
杜支加爾と云土人驍勇戰と好む部中北邊小
尼布楚城あり近世清人魯西亞と和議一此地
小界碑と建て其封境と定じ又清祖誕降の処
あり寧古塔と名づく地頗る富庶長白山其近
にあり闔州廣袤里方三萬六千二百五十民
口百七十萬

蒙古其都と科爾沁と云此地冬月酷寒と虽共
夏月小至き氣候卻て平和故小支那帝避暑

の園亭を設け時よりて遊宴ることあり其造
巧極めて風致あり土人汚穢みて常小田獵
を生とぞ間々農耕を為を者あり然と共定居
部落と為ゞ水草を追て徙轉を但長城近郊
ふ住ることと許さざ訟事わきバ命と北京
府小受く域中廣袤里方五萬三千百三十民口
百萬ふ幾ノ土產皮革錫
喀爾喀支那斡靼中第一の鉅邦而て人民も
亦極めて多い國王あり命と北京小受く又法

王あり達喇喇と稱そ圖伯特法王の支派と
云此地大沙漠ありて蒙古小達トク土人呼んで
瀚海と云東西三百五十里南北五十里其地常
小乾燥百川之々至りて皆竭カツくろ処纏ミヅ小草木
を見る邦人此を牧畜場と云春秋二分大風の
起るとさへ沙流浪の如く一夜不トして巨山を
乍ハ又頃刺ハシみて陷坑ハラハラとなる土人此小蓬アヒ
と云ハ皆迷死カムイを薪柴シヤク不ト乏シ一物を煮る又馬牛
糞ククの乾クル者を焼くと云ヘリ

薩哈連サハレン一名哈喇土又或山丹サンダン乍ト作る黒龍江海
小注トクぐ處の一大島なり土地五穀ゴクを産スルべ
其近海ヨミナハ又魚多タチ半ハ本邦ホンボウ不ト屬シテ一ハ支那
領リョウ小属トクを其内地高山あり一ハペイキハイキと云一
をスハンスハーンと云獸畜ジツククを產スル土人馴鹿ヌヌ及び犬を
使ふ一說小曰此地島シマ小ありトぞ

魯西亞韃靼ルーシヤタタール一名止百里亞封境ヤイホウジ最大皆魯西亞
帝小服屬トクモ域内イニ大總鎮オウズンジン四所シキあり曰く托波爾トボル
斯科スコ曰以爾格都加エーラグドガ曰くトムスキトムスキ曰くコレイ

ウハン其下又十三鎮より分つ其政官皆ペイトルジルグより来る。魯西亞都府の名。土地總て瘦瘠人煙寂寥惟大川大山極めて多。其以爾格都加所領小大湖あり白哈兒一名靈湖と名く廣十五里袤百四里。按モ。小大清一統志中俄羅斯條小此湖の記載あり漢書を引て曰く蘿武牧羝北海上。恐くハ是ナリ今地理と以て考るふ此説懸當なる。似ナリ讀者輿地全圖小参考モ。一。湖中多く魚と生。又

海狗と産モ。一年獲る所二千頭。ふ減。モ。其北部海小瀕。モ。地と沙謨厄鄧と云土人短小長四尺。又充。モ。亦定居部落と。水草と追て移轉。モ。其食ハ常小駒鹿と啖。氣候最寒。冬月小至。モ。日光稀薄終日常小薄暮。の如。其寒最酷。モ。水銀火酒の如。モ。凝固。モ。流動。モ。小至。但夏月四十日の間。ハ炎熱。燉。モ。如。モ。云域内大約五穀を產。モ。土人海魚及び鹿肉と啖。モ。其一部大洋中。小斗出。

ト我千島と對峙する者と加摸沙都加と云往
時人煙寡少惟哈薩克の人來りて皮革と交易
ところのミ近八十年前魯西亞帝翁加里亞國の
人名ハ「ベレヨウスキ」と捕へて此地小放流セ
トナリ人口日小蕃息ミ然ども土人皆蒙古
種族みて奴娘ミとそハ鹽胎ミの惡風
あり一府ありニスコロと云人口三千間々農
耘ミ生とどる者あり闔州里方二十七萬二千
餘民口八百五十萬或曰九百萬土產上好皮革

蜂蜜火浣布

新增白臘北極圈近き外小あり魯西亞小属を
分て二島とモ四時雪深ミこと丈餘冬月百餘
日毎小暗夜の如一惟時々光氣と北方に見る
のミ燠地家夏月纔小其地小至ることもう然
まども皆雪山水野のみにて土地と見るこ
とナリ其北岸小高山あり近世獨逸人其地小
銀鑛わんことと計り鍊熟一々坑丁數人
と遣りて堀らせ小遂小些少の銀とも見ぞ

して還る此地終歲七分の夜三分の晝あり土
産。砦無枝葉木。鷲鳥白熊。

獨立韃靼支那及び魯西亞小屬せど割據自立を
所の數國を總べ云其風俗喀爾喀似て暴戾
此小過ぐ他邦人其境界と越ることを許さば今

分つて七種とす

圖伯特又單毅得とも云南北小分る其南と圖伯
特北と火單と云ニ法王あり一ハ哩喇喇と云
南部の「ラスサア」小都モ一と「ホコトラマ」と云
近隣此ニ法王ふ事ふこと最も虔じひ皆萬世不
死の神と云へり甚き者ハ其鬚矢と金囊ふ盛り
て神符と/or之と醫藥小代りふ至る此地亞
細亞洲中ふ於て最高一部内意貌山續きに高山
あり「ドホラキール」一名白山と云 吾文政之初
め嘆咤國王の臣「ウツペナク」者此山ふ躋りく
測量モ其高ニ海面と抜くこと二萬八千尺餘印
度地方安日河の南部より望じふ殆ど咫尺と距
る如一天下の大山脈皆源を之小取らざりも

亞墨利加洲中高峰シンホラの如きも皆
其支派よりて其高亦七十尺と減ぞと云。輿地
全圖と参考そべ。其雪山より數百の大川と
出モ身毒安日黄河其最とそ其深谷間ふ又一種
の野馬及び旄牛と產を支那人或ハ染て赤色と
有甲鑾の飾とよそ其河水皆金沙と出モ惜ひ
らくり用ふ適りぞ南部又大鎮あり支那帝より
戍卒と遣りて衛護マシじ闔州廣袤里方一萬八
千民口一千二百萬土產米大黃麝香旄牛尾金銀

水銀。白銅。石鹽

大佛加里三部小分つ其國王と大汗と云土人勇
氣あり常に石造の家小住と其都を撒馬兒罕と
云大學ニあり古昔英傑答墨兒蘭。按モリ小莫
臥兒帝鼻祖の名。此土小產を邦人止百里地方
小至りて貿易モ又其地小人種と移モ凡二萬餘
人土產五穀金砂木綿苧麻大黃繭紙
小佛加利四部小分つ四面皆沙漠モ長四百
里南小意貌山あり其近傍數十里外小蟠居モ

此邦百五十年前獨立不羈の強國なりしに遂
小葛爾摸幾國本と併せらる。西書と按するふ
葛爾摸幾國本と強盛たりて三十年前支那
と戰ひ屢々敗そ後魯西亞小投じて國亡ぶ此
事。平定準葛爾方略戴そる所小似たり其地方
亦同ド。當時其下宦來りて國政を司どる其
人ハ皆小舍と車上小營一効めて徙轉小便を
土人ハ石造の家小住一地坐胡跪小習ひ椅子
と用ひ其奴婢ハ戰ひ勝つの俘虜を以て是
ふ充つ風俗大率傲虐みて奪掠と常々又
一夫衆婦と娶りと美とぞ但一婦の費毎小百
金故小窮もろときへ賣與もろこと妨げぞ
其女容貌美麗耳小銀環と穿つ長さ六七寸其
髻へ金銀五采と飾る人小嫁もろときへ凡て
赤色小深りと札とを其婚もろときへ衆僧來
て鼓と擊ち鐘と鳴りて歌舞を闔州里方一萬
零五百民口三百萬零三千近世支那の版圖小
入り惟獨立國の名と存もうゆえ加什毛爾哈

密都杭其部内より土產金銀穀上好織絲等
都爾格斯坦二部小分つ幅員四方凡そ百四十里
都爾格帝の曩祖阿斯滿是土ふ産モ今に至りて
其餘風あり土人能く馬上長槍と使ひ又能く炮
矢と發つ惟其性頑愚をうと以て厚く邪神と信
ぞ其都とチユレカと云商戸五千闔州民口六百

二十萬土產金砂白銅火浣布

烏斯伯祈都爾格斯坦の南部小あり其人暴惡奪
掠俗と為モ婦人極めて猛勇毎小夫小從て軍小

向ふ殆んど古昔亞馬鑽國の婦人の如一〇西書
を按モリ小古昔亞馬鑽國北高海の東邊小あり
此地と近一〇其食獸肉と尚び馬漣と酒とと國
人四種小分つ各々君長あり是と總ぶる者を大
汗と云其兵威頗る旺軍を出そとさゝ號令を待
びて會モリ騎兵二十萬近世魯西亞と和親モ
国富人足る近隣之と恐怖せざる者を一属國三
あり闔州廣袤四方八十里民口九百萬餘土產極
めと饒一然きども邦人之と脅とせば但毎歲良

馬六萬餘頭と印度諸方小鬻ぐと云

哈薩克分て二種とモ大汗あり世及セモ邦人其賢者と推て主となセ近世魯西亞と戰ひ屢々敗歎も遂ニハ其東南の藩鎮スルんことと約を然きども土人傲虐オクタクにて其命令少從ハシメ亦土貢と納キハシメ風俗其人強壯キョウゾウにて戰と好ミ亦能惡馬と御ゴを敵陣小臨ハシメムトキハ先づ大少呐聲トキコロと發して突衝トクショウを強兵堅陣と恐キハシメ又已ミハシメ騎歩の多少小拘ハシメリハシメ故小其敗歎ハシメトナモトキハ一人

も生還セハスルセギテハシメ小至る其都府アツフ湖中小あり殿イキナガルモ大木と連架ゲンカにて屋宇と造る故小水の高下に因りて淳沉フクシン甚奇ハシメケリ部内一寺觀あり金光燦爛キンボウセンラン人目と瞰ハシメモ又學校あり生徒小教諭コトヒヤウモ闔州の軍人七十萬と號ハシメモ然とども近世佛蘭西假帝との大戰小魯西亞其國小賦ハシメセー小僅ハシメ十萬騎と出モと記マリ土產及び人民の貢詳ハシメビ加烏葛須ウガス北高海の北邊にあり分て二部とモ大山あり國名と同く其高さ海面と抜くこと五百

五十丈土人身材短小みて常に奪掠と風とを
此國輓近多半魯西亞小併せらる其都とアツ
コと云自立の酋長ありて此小都モ闔州廣袤僅
に里方三千七百箇民口八十萬零二千五百產物
金沙銀牛馬及び鐵器什或ハ大煩ガ劍を作ル小
妙あり五穀ハ寡少

東都爾格往古那多里亞國と云十七鎮又分つ
セイプリス島其一部アリ此國往古り盛大の
帝都アリニ匹夫阿斯滿の。都兒格帝祖
の名。為小奪領セラミ長く公斯璫低諾波爾
府の。杜爾格帝都の名其國の條下と参考を
ベー。配下とす。部中奇湖あり死海と名く
鱗族皆育セぞ其水清淨ナリて鹵味多一其岸
畔常小鹽芒の凝固ナリと見リ又試小物を投
ナリム至重小非ざれど沉没セ行旅其近傍小
至リ其蒸氣よ逢とさへ衣袂先づ纔小卑湿セ
る。と覺ふ後二三日を経て其衣袂皆腐壞其
東數里名譽の大河歐法臘得。歷山帝舊蹟。

南小面ヤハリにて犇流ヤハリを氣候ハ四時常小人畜ヨシナヒ小可
ナリ五穀金銀亦極めて富饒ブヨウナウ近隣稱シテて天下
の樂土ラクドとモ又溫泉カムヤムあり數所小噴出スルトキモ能く痼
疾シテと醫シテそ闔州廣袤里方二萬四千三百民口千
二百萬土產五穀火浣布大理石大煩刀劍

亞刺比亞分アラビヤて二部とモ其王都サナと云土人
石造の屋小住スモニモ民口四十萬近世屢々百兒西亞
小侵掠アラブ此地素膏腴スラウハといへども部中沙漠
其八九小居スモニる故小夏月南風起アラブ時ハ沙中每小

含む所の疫毒エキドの氣と吹送り其臭氣堪ベテリ之
土人漂悍ハラタクにて奪掠ダラクと事とモ行旅ハシラハ皆隊伍と
結んミクニて其賦盜ミツウの難と防カニく土人事ハシラモアリテ沙漠中
と往ハラタクくとい敏捷ミヅチの駱駝ロクダハ騎ハシラり數旬の糧と懷
シ先羅鍼ドロクと取て其方向を定ハシラむ殆ハシラど航海ハシラと烏
そ者の如ハシラ一若不幸ハシラて中途ハシラて大風起ハシラる
とさハシラ沙浪ハラハラの為ハシラ埋死ハシラモ其紅海ハシラ不近ハシラき丸ハシラと天
方ハシラど云馬哈默宗マハムの寺觀ハシラあり造工幽致ハシラ礼并ハシラモ
者ハシラ毎小堵ハシラの如ハシラ一貧者ハシラハ部落ハシラとハシラ水草ハシラと追

て徙轉。そ闔州廣袤里方四萬五千二百十三民口
千二百萬土產。獅子。虎。豹。駱駝。良馬。米。錢。護謨。備那
蘆薈等。

百兒西亞二部十五道ふ分つ其都と「イスハン」と
云。近百年前國王叛賊の為め小殺。アリミ其王子
民間小殺。後二年王子十三歳よりて義兵と興
其叛賊と誅。モ部中罷臥落泥亞高臺の址あり
氣候ハ總て熱。惟ヲレシビユルク。高山の名
〇近々外僅小涼風あり此地大率四月より十月

小至るまく一粒の雨露を見ぞ然きども五穀皆
豊饒也。國王の「聖城」セント。不あり。造築弘麗天下
の奇觀。閩州廣袤里方三萬七千二百民口二
千萬土產。駿馬。泊夫。藍。五穀。煙草。藍苧。麻。大麻
天竺。一名東印度。是亞墨利加洲と西印度と云。小
對。語。ナリ。其疆界。西へ百兒西亞北へ圖伯。特
東へ漢土。小接。モ其廣袤長を断り短を補。モレバ
四方五百餘里。小至る。其民口一億二千餘萬。中又
安日川の東西。小因りて前後二大部。小分つ其人

種一々アリと風ハども概アリ小天資皆聰慧人不
交マツルに愛情エロジあり軀幹中位面色黃黑常不讀書術
藝ゲを好メ又心ハ技巧テクニク又費ヒラヤを風俗男女八九歲或
ハ十歲アリて婚嫁ハルカ其子を産スルこと最輕易
尊シヨウ小有アリこと僅一二日のミ其淳屠教フクミヤ奉スル
婦人ハ夫死マリ其屍スヒを焚スル吾身ワタシも投スルて死
モアリ者あり近世西洋人多く此地ハ通商ハシマツル不
より此風漸ハシマツル止ム氣候ハ總て炎熱エキナカ山林ハ四時
綠葉リョクエバあり土地肥沃ハツハツ互市繁盛ハシマツル五穀一歲中

小實アリこと兩度土產獅子象虎豹駱駝蟒蛇鷦鷯
孔雀蝙蝠ハリ大さ鷄ハシマツル如一金銀寶石真珠珊瑚
椰子ヤシ橘抽マツブ阿利被アリヒ阿片アヘン丁香胡椒ヒンサウ其他品種枚舉マツシヨウそ
べりアリ前後域中又數十國小分スル各自皆王と
稱スルモ昔時莫臥兒帝ムジガラと最アリ然アリ小近百年來喚
哈喇ハラ小屢々擾亂ハラハラ又百兒西亞ハリハリと戰ハシマツルハ大小
敗衄ハラハラアリ内亂續ハラハラ起スル其下三十五候ハラハラ皆
叛スル百姓其賦役ハラハラ堪ハラハラ我寬政十二年滿刺
甸種ハラハラの土豪名ハラハラ薛霸尼ハラハラの為ハ小其都城アカラ及

びデルヒと侵奪^{ムク}。古昔英傑答墨兒蘭^{ウカラム}。大佛
加利部中の土民より起り此地小霸業を創め其
孫法百兒能く父祖の志と繼^フぎ強國ハタア子シ
と伐ち其生業と中興^{キテ}九鼎^{キウテイ}とは不定め^{トヨウ}
此小至^ル僅^シ小二百五年^{ムツ}て血食殆ど一縷^{スジ}の
如^ク爾來國亂治らモ虛^{ミミ}小乘^{トトコ}ド^テ英吉利^{エギリ}佛蘭西^{ボラン}
和蘭^{ハラム}波爾杜瓦再^{ダラム}弟那瑪爾加等大舉^{カミタク}來りて前
印度諸地^{ヒンドウ}小占據^{スケキ}モ是に於て国人別てニと^シふ
其西洋諸州の命令不從^{ハシメ}者四日^シレケイ
クス曰く「デスカ」曰く「満刺甸^{マラドン}」。此
記載詳^クな^シ。

満刺甸^{マラドン}其曩祖^{アヌモ}ハ「カシデイス」より出づ百五十年
前の頃ハ「ベヤ・ブール」の○地名○頭目^{トドリ}後屢^{トシ}
々莫臥兒^{モガル}所領^{トドリ}と奪領^{トドリ}遂^ト小國^ト建^タつ其疆界北
ハ溫都斯垣^{モスケン}南東ハ榜葛刺^{ボンゴラ}又劃^{ミク}一西ハ海小至^ル
其地の平面里方三萬餘其首府^トヒュナア^ト云人
烟頗^ハる疊密^{トトコ}百貨備^{ラズ}ハナ^{ハナ}然^シども國政
苛酷^{ハシキ}なると以て 我文政の終り小至りてハ其

下の侯伯或ハ軍人半バ喫咲喇所領小志と通ぞ
る者あり近世此國を分て東西二部とモ其西部
滿刺甸所領小屬モる人民六百萬東部ハ僅小三
百萬風俗土人厚く淳屠教と奉じ故ハ闔州牛肉
と啖ふ者々々益一其初め百年前此國汗薛霸厄
と云者天資豁達アリて義勇あり能く其近隣の
侯伯小好と通シ常に其旗下の士を愛撫シ大少
其甲兵を利シ 我寶曆中莫臥兒帝喫咲喇人と
事あり薛霸厄其豐小衆ド軍と出シテ莫臥兒所
領の過半ヒ侵蝕モ其子勇猛父ハ勝り能く節儉
ヒ守り多く騎上長槍を使ふの士を養ヒ遂ニ強
敵アカシヒ敗り其地を奪掠シ又喫咲喇波爾杜
瓦爾ヒ戰ヒ屢々之小充つ其兵刃の向ふ外皆充
ざふことナリ 是不於て喫人憤懣不堪ヘモ大兵
數萬ヒ發シテ鏖戰シ軍結んで解ジリ者四年卻
て其所領數所を奪フ其近隣之を聞キ畏縮セ
ざる者ナリ稱シテ亞細亞洲第一の强国とモ尋
で二年喫人亦強軍死士と募り大ハ其領地

を扼モ麻刺甸主頗る窮一又精悍の騎馬長槍と
使ふの士を從へ宿世の仇ヘイデルアリと。人
名。和一進て兵刃を交んと。喚人是不於て和
と乞ふ。我寛政八年不至りて、莫臥兒の末帝
其手に擒マリス不至。其勢威殆ど莫臥兒帝の
舊時小勝る方。今其命令を受マス者ハ喚國所領
及バシケイクスの二部のニ其土人天稟頑愚不
にて死を恐ゞ故小敵と戰ひ軍敗。時ヘ兵
氣倍々強壯。近世其隊伍中間々歩卒と交ゆるを
見る。惟惜ひべし。土人大煩と自由不運轉。も
ことと知ら。其術も亦甚ぞ拙一故よ往々西僻
人ふ敗きることあり

見る惟惜ひべそい土人大煩と自由ふ運轉もる
ことを知らず其術も亦甚ぞ拙一故よ往々西洋
人ふ敗ちることあり
「シケイクス」此國本此稱謂有ふ非ぞ　我寛政中
莫臥兒帝滅亡已一後新ふ國と建つ其分界滿刺
匈及び嘆國所領ふ隣接一昔時の「ラホル」アカラ
○莫卧兒帝都址。○及び「テルヒ」の一部と併有
て一大州となす内又數國あり各々酋長ありて
割據を然とく毎期ふ各國の政官會議一て征

伐軍旅のことと論定を申ふ又一人と推て其歳の盟主トシム但其心中相互小猜忌と懷き共ふ和して西客と伐つことと為スニ其首府をラホルと云々古ハ極めて繁盛稱して東方諸州の冠とモ近世ハ絶ざり戰爭の巷となりて人民多くハ鳥散」府城亦隨て廢墟モ府内莫臥兒帝夾世の香火院あり製造巧妙人目と愕クシテひ風俗大約傲慢シテ能く馬上モ長槍と使ひ又巧ミ小火繩銃と放つ男女常モ厚く浮屠教と奉じて尚冷カシビ

土地肥沃五穀一歳中モ實ること兩度或ハ三度其山林ハ終歲青綠アリテ霜雪と受くることヌ一闔州騎兵十餘萬歩卒此モ准モ人口四百萬餘或曰く四百十一萬氣候常に灼熱餘炎暁モ獄にて尚冷カシビ

「デスカアテン」此稱馬哈默教と奉ざる人民の總稱と云此國主厚く馬哈默教と奉る其臣民皆然り故モ西人遂モ混じて國名ともモ其疆界東ハアガラ府畔モ劃り西ハシケイクス諸領モ至る

此四十年前ハ兵威頗る強盛近二十年來蒲刺甸
及びシケイクス小甚一侵蝕マリニ今ハ廣袤
里方ニ千餘民口四萬小至る或ハ曰く蒲刺甸シ
ケイクスの二牧連合一て嘆人と伐つことと為
さざ却て同種族と亡一併已て已グ兵勢と殺ぐ
至愚の至り小非モヤ

榜葛刺其首府とコルコレタと云商戸三萬此
地嘆哈喇國印度諸領の總督鎮と云往古ハ國
王ありて莫臥兒小臣服を當時五穀肥饒人煙

稠密百貨久く所ナ道隣稱一て天下の樂土
とも我明和三年の戰爭ナリ。按ダリ小莫
臥兒嘆哈喇との合戰と云。其近隣ヲリラ「バ
ハル」と共小嘆人小併有マリ尋で又五年大
飢饉あり人民之が為小三分の一を喪フ加之
小嘆人の狡猾ナリ政治と非常の厚賦と小因
て國中甚ざ麋弊一方今ヘ家產農耕と勉むる
者至て稀少也闔州廣袤六千七百民口一千八
百萬二千餘

綱買譯スルて好譽ハシタシと云義アリ此地本波爾杜瓦爾小屬スル後其王女と英吉利ふ嫁セイトミ此地を以て妃の妝籠料ヨツラウリヤウとミ長く咲國ハマクニ小分與スル再來互市場日ふ蕃衍ハシタシ近世モダニ小至りてハ咲國より置く所印度の大都督スル此ふ都シテることあり土人二十萬零二千此地モダニ西洋人種二萬餘人部中身毒川ヒンドゥあり北より南小貫流クニクナリ其幅員二里七口と分て海ふ注ぐ卧亞ハマカシ國の西邊ハマシタシ小あり周圍皆大川ハマカシ

洲中四つの城寨シヤウと譽スル此地往古波爾杜瓦爾に属スル後和蘭人是地と奪ハサフることと欲スル大艦數隻ハチツキと遣りて攻ムカシること數次然ハシタシと遂スル志と逞ハシタシること能ハシタシぞ 我明和の頃ハシタシ小至りて喫人の為アリ小併ハシタシ部中五穀を產スルそ但清永小乏ハシタシ人煙稠密ハシタシ土地膏沃ハシタシ部内小山水明媚ハシタシの處多ハシタシ一產物大象虎上好蘭絲蝙蝠ハシタシ大き翅ハシタシ張ハシタシとさへ六尺ハシタシ及ぶと云麻辣襪ハシタシ爾此國一種の陋習ハシタシあり國王其位ハシタシ太

子小讓やづりぞして卻て姉妹の子と推そ其姉妹
常小定夫ヨシキチ夫々多くハ浮屠教と奉る僧と寢
處ドク也故ニ國王世々其母と知て其生父と知る
者有リ近百年來西洋人多く此小通販セリよ
り此風漸く止ひ其北部加得山ウテモアン又大蛇と產モ
長さ三丈餘人畜と啖ふ邦人巧ミ小炮矢と發
て之と獲其肉と焙りて食ふ充つ甚シど美と云
土人性極めて懶惰農耕稼穡の業と勧めぞ今
ハ閩州蠻ムイナて嘆咲スカサハモ所領と有リ

後印度其疆界東へ支那シナニ至り北へ圖伯特西へ
安日河アガシマツキと以て前印度と域と接マツル數十國と總
べ云うり其人物風俗粗々前印度諸州似て較
善良と云其氣候產物も亦甚ざ殊シテ有リこと有リ
但蘭絲龍腦丁子及び伽羅と產シテること前印度
の比倫小非アリぞ閩州廣袤里方三萬八千餘人口三
千四百萬或曰三千四百五十萬ありと云
亞齊蘇門答刺北邊アヤシニ亦亞齊と稱シテ國あり此
と同ドリモ邦疆西へ前印度と刺鳩牙河と以

て界一東ハ毘爾溝所領小至る自立の王あり兵威頗る旺盛なり百五十年前莫臥兒帝大兵と發して此地と伐つ然とども遂小其都城と陥る支能つぞ帝憤小堪ヘぞ其群臣小令して曰く亞齊王と弑そる者ハ族爵小封ぞベー是小於て其旗下の士竊小身と役夫歩卒に變ド此地小來りて虛隙と窺ふ者殆ど七年遂小其志と遂ぐら者々ノ後亞華國主小併せらる近五十年來獨立不羈の國となる土人性溫柔みて厚く浮屠教と奉ぢることれ

毘爾溝一名ブマニセレーキと云其疆界南ハ暹羅及び浦刺加小至り東ハ「カナム」所領又劃る此國祖の名とアロモヘラアと云ふ 我天明四年以來阿瓦。琵牛。亞刺敢カツセイマルタハニ及び暹羅の一部と併呑して遂小霸と此地小稱モ其勢威猛烈遠近の侯伯是と畏縮せざるハ有リ惟

惜むべき邦人火器と用るに甚ざ拙フツク一又大煩
と自由スル運轉ムラシもることと知らず故小往々西洋
人ハ敗ハセドと取ることあり部中人種ハナシギモ琵
牛種ハシモ其前頭の髪と圓く剃り後頭ハシモ半月狀と
爲スル此本土の人ハ分ハサウシム其命令極めて嚴ハシモ
り亞刺アラス敢人種ハシモ亦然り然ハシモ此種ハシモ天資ヒヤウス傲
慢ハシモて往々其令ハシモ從ハシモハざる者あり故ハシモ多く
ハ内地ハシモ住ハシモ已ハシモテ海ハシモ入り賊ハシモをハシモ其国王
の都府ハシモユムミラヒュラハシモ云商口七十萬百貨具

りハシモぞりことよハシモ一部中山岳多きと以て五穀小
豆ハシモ故小土人ハシモ毎小根米ハシモと他邦ハシモ取ハシモ惟夥ハシモ一
良材ハシモと出ハシモ近隣ハシモ唉咲エゲハモ所領の如ハシモ皆船材ハシモとは
地ハシモ仰ハシモ土人性技巧ハシモ小長ト又能ハシモ支那ハシモの文字
と學ハシモぶ故ハシモ其言語風俗支那ハシモ髮鬚ハシモ又間々
篤ハシモ邪教ハシモと奉ハシモ者あり一寺觀ハシモ造築最も
宏大殿堂の高さ三十六丈四尺餘草創以來今に
至るまで二千三百年と經ハシモと云又往古よりの
碑ハシモ傳ハシモて曰聖多默氏ハシモ此部中より婆羅門宗

の為小追き前印度コルコシダ地方に至りて死
も故ニ今ふ至りて其中間外々に聖多默の舊蹟
あり又曰往古撒刺滿王始て船と阿必爾國小通
ビテ云も即ち此地と指なり闔州廣袤詳な
モ人口千七百萬產物銅鐵小麦夏菓些小米

暹羅八部小分つ其首府亦暹羅と云メナム河中
の大洲小あり商戸五十二萬民口六十七萬七千
二百部内三人の小王あり皆国王の令と聽く此
国一種の風習ありて国王其臣下小食禄と給スル

モ故小戰爭に臨で其命と奉ざざる者多一府内
寺觀二百八十あり造工皆妙と盡スル國王の宮
殿規制最も宏大皆覆ふ金瓦と用ふ其風俗粗
支那シナ似たり軍と出モとさへ騎六萬卒十七萬
象七千隻と率ふと云土人罪科の疑事あると凡
ち之と判するに四法あり一曰冷水二曰沸油三
曰烈火。原本よ其四と觸く輿地誌略よ四ハ朱
團を嚙下せしむとあり。其南邊小國あり六昆
と云四方二十一里五穀豐饒暹羅小隸モ。接ぞ

る小慶長中駿人山田仁左衛門暹羅シラカバ小航シロガメ一國王
の為又屢々戰功あり後執權大夫となり封と受
て一小王とうう即此地たり此夏山田氏略傳小
見ゆ○闔州廣袤里方六千餘民口詳々ぞ

滿刺加數國小分る本暹羅國小隸サムライを近世自立の
王あり其地半ハ和蘭小併せらふ首府も亦其所
有と有る商口一萬二千此州氣候印度地方アマゾンもあ
りて最も炎熱然アツナハども賴アリひふ日ヒルにて雨降アラハ
ざるハナキ風俗男女每小裸躰スカスカにて能く水スル

投毛婦人スミ纏スル小帛布スルと取て其腰下スルと覆ふ又一
異人種あり「カルコラク」族と云其人短小思慮少
なく晝臥ヒラム一夜行く西洋人之と交易スルと有そふ
皆拂曉ハタハタ或暗夜人定の後と以モ此地西洋諸州
より亞細亞諸州小航シロガメうち第一の馬頭スカトにて其
互市スルの盛スルることも亦東方諸邦の冠スルと云故小
和蘭人外寇スルの窺スルりんことを恐スルと常に數百の軍
人と備へ又大煩數門スルと置て守禦スル甚スルど嚴スルりと
云此洲二百年前波爾杜瓦爾ボルトワル小属スルセースルとまへ常

ふ其下官と置て往來の商舶より定額の課金と
取り一とおり今へ此風絶て止む惟波爾杜瓦爾
ハ先規小因て其定額課金と出そと云

東埔塞シガラ一名真臘地半ハ暹羅ヤマラ小属一半天ハ交趾
ふ併アモリ首府とメコンと云暹羅の鎮臺お
り土人農耕を産と土地最も疲瘠と虽ども
常小培養ボニヤウと煩モラハ毎秋洪水あり其甚ヒサギと
さハ桑田變シヤウタヒトて忽ち海となり然きども水退
て後膏腴クツリウの良田となり故小洪水の高下によ

りて其年采穀の豊歉ヨウケンと沾毛土人ハ季夏不至
ミバ豫アカルハ小艇數艘と作りて其水害と避く貧
者ハ自ら家財を荷擔カバンして山上小躲シラカノ闔州人
戸七萬五千民口二十萬餘部内最上の伽羅と
産を其價金銀よりも貴

交趾キアチ其境界東京及び東埔塞シガラの間小なり風俗頗
る質素人小交りふ小偽言ハラスムと言つぞ物と約する
ときへ輕易の事と虽ども違つぞ食足り物饒ヨリミ
こと印度地方此土小比ヒ者ナリ其首府とシ

ニトラと云商戸四萬二千。人口七萬七千部中毎
秋洪水あること粗東堵塞ふ異なることなく土
人顔面淳白みて厚く神教を奉る然きども其
神と稱する者ハ皆此國歷代の聖君或ハ名將賢
人の廟主を祭祀故小邦人國家の為め小死と
致モト榮とぞ但其近隣諸州ハ今不至りて多く
佛教を尊信し有生諸物の死呂ルを以て神佛と
其甚しき者ハ犬馬の枯骨を祭事もる不至る
鬪州四方百十二里民口九百萬餘占城其部内不
在り產物金銀五穀一歲中寶らること三度
東京。即安南國の往古ハ支那小服屬そと云百
七十年來其正朔を奉ざりて自立主とぞ今
代ハ其兵威倍々加りて近隣尊て皇帝と稱そ其
南邊海小瀬もろ部毎秋畏るベシ颶風あり其甚
しきとれり鷄犬を一掃そることあり此地一種
の白蟻と産そ長さ二寸餘能く船底或ハ屋柱を
蝕し甚ざ人民の害と為そ又大蝙蝠と産そ其肉
甚ざ美うり土人好で犬馬の肉と啖ふ其風俗粗

支那小似より百年前邦人日月の餌アシ理と知
らじ國王先づ獨り之を知る嘗て衆人不喻アシて
曰く某月某日某刻白龍來りて日と呑んとそ吾
宣く衆と共ふ之と防ぐべ一已小飮アシ小至き
バ大小鼓と伐鐘と鳴アシて吶聲アシを近世西洋人多
く此よ通商セ一より此風漸く止む土人好んで
武と講アシ然きども敵ふ對アシとそり勇力皆襄
ふ恰アシも支那人小殊アシことくス闔州人口八百七
十萬軍人二十六萬騎馬四萬五千

老撾アラカ此地往古ヘ暹羅アラカ不屬を近世支那帝の版
圖アシふ入る國の長さ一百餘里廣さ二十五里よ
り或ヘ三十二里ふ至る土地肥沃五穀至アシ饒
し土人性頑愚アシて篤く淳厚教と奉ぞ然き
ども往々能く支那の文字を解アシ者あり部
内大河あり「メコン」と云支那人此と以て其本
土の國界とも土産安息香犀角上好五穀人口
詳アシケアシモ

亞細亞洲中島嶼百千數アシベアシモ今其有名諸

島を以て左ニ列モ但一新增白蠟島の如き隔紹
萬里覽者小便なほ故不止百利亞條小舉ぐ讀
者參看そべし

齊狼一名桂島印度海中少あり麻辣拔兒不對
峙其形恰も倒懸の珠の如一其海路近ミ
外ハ二十里又過此地の廣袤里方一千七
百三十民口二萬此國上古波爾杜瓦爾不屬
中古和蘭不屬を近五十年英咲唎不併セラム
土人今不至りて其政令不服從セモ輒もんぞ

其小王と謀りて乱を起セることあり域中高山
ありアダムスと云或曰く梵の靈鷲山即ち是
なり其絕頂不佛の足蹟あり土人ハ此を釋迦
の舊蹟と云西洋人ハ自國の古典不因て己ミ
ゲ曩祖亞璫の故蹟と云昔時山上又黄金の大
佛像ありアベレタンドと云後波爾杜瓦爾人
其像を毀セ七十萬兩の黄金と甕ると云此地
熱帶中少ありと雖ども甚て熱キシテ常不多
くの海風ありて涼氣と送ス物産總て多一最

も桂枝と上とを其芳香海上數里外小聞ふ是
ふ因て舟子齊狼の近と知る次々宋と上と
モ亦一種奇樹あり「タル」^{アル}パと名づく其葉極
めて大二十人を蔭モと云其近傍麻辣枝爾海
珍珠と産モ故小數多の蜃丁此小來りて活計
と為そ其海小投ざるや先海綿を取て耳鼻の
孔と塞ご腰又一木挺と著け水族の害と避く
亦豫ドメ繩と其沉じべし外小下して此と得
て海底小至り鉢と以て蚌と礁より採り囊小

備て後其繩と動セバ船子上より之と引上ぐ
と云其珠子と斐るふハ其蚌と沙中小埋め肉
死一殼開くと待て始て其功と全ふモ但年小
因りて漁の豊歉あり風俗方今ハ甚ぞ華美くわい
り其往古ハ此地一種の酒習あり吾子の爲め
に婦と娶るトミハ初婚の夜其父先づ新娘と
同ドく寝ふ入る闔州之と以て規とケヘ甚ぞ
笑ふベー一説不曰此國梵の摩迦陀國
駄兒地歇私ハ齊狼の西ふあり四十二島の懇

名をう今へ皆波爾杜瓦再ふ属を此地古昔酋長めうて其十三島と領を其近海の潮半歳へ東流ト半歳へ西流モ島中清泉に乏シ物を煮るモ椰子の水波と用ゆト云土人面色黄黒モ一ト厚く浮屠教と奉ド亦間々海賊と生とそ他の歐邏巴人常モ之と恐る今に至りて其近港小船と泊モ

アンタマレ諸島桂島の東モ在リ一連續の島嶼と云其人天資兇惡世ニ稱モテ啖人國ト

モ方今ハ咲咲唎の風俗と學ぶ此地ナリ齊狼小至るの海峡ハ皆淺沙みて纏モ小艇を通ズベ

蘿門答刺十七州モ分つ其君長一トモモ今ハ多半和蘭モ属ト一部又咲咲唎モ属モ大山モウラブヒル止ト云高さ海面と抜くこと一萬三千四百三十尺又大湖あり夥しく鱗族モ生モ國の東岸ハ皆肥沃樹木其枝長く垂れて海モ小柿ミ貝殻常モ夥シく之モ粘著モ此地氣候最も熱モ

春秋二分時の如ミハ太陽其頂上と環るを以て
些少の光影を見ぞ五月より九月小至るの間畏
ろベキ颶風あり又地震大霧多一邦人の生涯冰
雪と見ざり者あり風俗一種の弊風あり婦人坦
鼻を尊ぶ故小女子と產モロトミハ其鼻と壓搾
一て平低ナリ此國百五十年前小至るまく
ハ土人強暴ナリて敵小克つゝミハ其肉小胡椒
と擦リテ之を啖ふ爾後西客多く此小通商セ
ムナリ此風漸く止む部中の北隅小大國あり亞

齊と云堅固の城寨あり產物粗々前印度地方不
似ナリ惟縣一く精金上好龍腦と出一或ハ河中
小金沙と流との差あり闔州廣袤里方八千六百
二十民口四百五十萬或曰四百六十七萬二千八
百軍人八十萬騎馬四萬其瓜哇不對モロ海峽と
宋達峽と名づく西客の本邦及び支那小航モ
者船路と備刺加海峽小取ラズレバ必ず此小
仍ろと云ヘリ
瓜哇此國往古波爾杜瓦爾人始めて通商セ一よ

り後半ハ咲哈喇小属モと云尋で和蘭人其國王
と謀リ咲人と追て占據レ又其地小大城と築く
其周環三里餘人口五十萬四千此都と名づけて
拔答非亞一名咬噉吧と云。按どう小和蘭船と
稱レ毎年我崎嶇小通販する者皆和蘭國より
此府小置く所の總督の命令小出づと云。其外
郭堅固の石塘と廻ら一中間二十二の樓櫓と築
く又其海瀕小炮臺と置く其戍卒數千あり防禦
極めて嚴ケリ當時印度地方互市場有名府の一

うち近七十年前咲人亦其國民と謀りて乱を作
そ其勢極りて旺盛和蘭人之を征服すること能
リぞ爾來數十年の間戰爭止時々遂小人民鳥
散流離レ府城亦破損して居住をぐぐぐ今小
至りて夏月不遇ヘバ其廢溝の污水より疫毒の
氣を送り臭惡堪ゆへりぞ和蘭置く所の軍卒
之ゲ爲小死下る者八萬七千餘人 我文化年中
咲人大舉一來て此地を陥る後四年アリて和議
ナリテ又和蘭所領小復モ然ども其府城ハ倍

々廢蕪まき今ハ大鎮所を部中の「立ルデフレイデ
ニ小移モ此府人口十二萬闔州里方ニ千四百就
中此地酋長の所領其七八小居る其府を板淡ばんたんと
云部中ニ支那人の商館あり此地の酋長ニ租税
を納ム其人種來て此地ニ住モ者一萬二千人
一説小曰此人種ハ今之清國帝祖滿州せいいくこく乱入
セセトヨキ害ご避さけて遠く此ニ躲かづる者の孫ご心こころと云
產物粗々蕪門答刺アラタシ又同ト
淳耳匿アラタシ何分つて數國と自立王あり其北部ニ

都モ兵威頗る旺盛アラタシ又其下幾多の小王あり
外々小割據アラタシ然ども皆淳耳匿アラタシ何國主小服属
そりう故小方今淳耳匿アラタシ何と以て闔州の惣名アラタシ
モ氣候アラタシ炎熱終歲八時候あり然ども其樹木
ハ常小青綠アラタシ凋落アラタシることナリ土人面色
黄黒アラタシて其性質アラタシ人ニ愛憐アラタシの情深アラタシ其奉ぞ
る所の宗旨アラタシニあり一曰馬哈默多二曰協アラタシ之鄧
近世知蘭人此土の地形を測アラタシうんと欲アラタシて其近
傍アラタシ至り難風アラタシ不逢アラタシ先モ其内部ハ山岳重層アラタシ

一て土人も其地理を知る者なく產物蘿門答刺
小似て較少やう一惟玻璃器と上とを部中英吉利和
蘭支那の商館あり夏秋の間互市あり頗る繁昌
なり馬神朱葛達喇其部内より闔州廣袤里方一
萬四千二百五十此國の廣袤西洋佛蘭西國と兄
弟と分ち難一其民口五百萬亞細亞洲中の大島
此地を以て第一とモ

食力百私二部小分つ西とマカサルと云ニ首長
ありて是と領を土地五穀小乏一邦人常小沙古

茶を食ト馬肉を羨うらゐとを然きども天資敏捷小
一て能く學藝を勑む高山ありボントハイシと
云極めて高一其山脈の東西小因りて各々國名
を殊べ亦風俗氣候を同ドそせぞ近世過半嘆
咤げ唶れモ併マま一部又和蘭に隸れモロイウヲと
云土地肥沃沙古茶樹の大林あり土産金銀銅龍
腦沉香等を上とを闔州廣袤里方四千三百民口
三百萬四千二百其附屬島ニゆリ一とバルカ」と
云民口七千一を地木兒と云和蘭ふ隸れモ

萬老高諸島土人種族一々就中 日本支
那。亞刺比亞種多さに居る此地往古ハ波爾社
瓦爾小属モ現今ハ和蘭所領となる其近海諸
島洲沙多一部中噴火山あり土地甚ど赤土五
穀至て寡少人民半ハ食不給セビ又清泉冷水
小走一惟夥一く夏菓と産らるて以て邦人其
汁を搾り飲料ふ充つ民口一萬九千或曰二萬
一千餘其近傍小附屬島最も多一
及勒碌民口七千地獨兒蕃太夥一肉豆蔻と

產モ其近傍亦安貝那の諸島あり舊と波爾社
瓦爾小属モ
我慶長中和蘭人之ふ據る後伊斯把泥亞人之
と取る明暦中和蘭人亦之と追て占據モ此地
甚づ膏沃々と虽ども拔答比亞府小近き
と以て和蘭人最とも之と要領の地とそ部中
夥一く丁香と產モ和蘭人之と毎年祖國小運
輸モ其數最も過多大約歐邏巴全洲の用ニ供
とと云ふ

「ヨロヲ」諸島是前條小舉る外數島の傍ら小基峙
雜落レリ十五嶋の總稱なり其中皆各々酋長
あり土地瘠瘠而も產物の數頗る多一

珉太腦馬路古諸島の北小あり自立主あり其都
とタホイクと云人口七千地半ハーフ伊斯把泥亞小
隸リ五穀及び上好龍腦と產モ土人性懶惰ラジゴ
て厚く馬哈默教と奉ド產業と作さざれ貧者ハ常
小海賊と生とそ其近傍海小珊瑚と出そ闔州廣
袤里方二千四百民口詳キシ

呂宋一名非利皮那是其近傍一千二百餘の小嶼
を合スル總名と云數十の酋長ありて割據カニヤ
其大府を瑪泥兒訝城と云伊斯把泥亞小屬を好
譽脚あり大舶を容スルベ一人口八萬八千互市極
めて繁盛其近地を「ハリア子」と云支那の商館有
り互市頗る昌盛旅客每小一萬餘人此地多半卑
湿スルて病客每小多一惟氣候酷熱カクニツを以て
最も夥スル五穀を產モ伊斯把人之を亞墨利加
洲小交易して莫大の利を射ると云土人面色黃

黒みて身材矮小能く學術を勉む惟其風俗甚
と野鄙產物木綿と上と其河水小金沙と出
又精鐵を産す伊斯把人及び土人も之を製煉そ
ることを爲す。閩州廣袤里方一千五百零五民
口三百萬中又就て一百萬零七千人ハ伊斯把泥
亞又隸を近七十年前此地咲咲唎小併せらるふ後
和議あり地又本小復そ產物熊虎麝香靈猫鷦鷯
鸕鷀等

カロリニセ諸島 日本所屬島の南西小あり

長あり近世其過半ハ伊斯把泥亞小属モ民口八
萬四千餘風俗呂宋又似たり其近傍五島あり皆
此國小附屬モ一ソコトニ云極上阿片及び
蘆薈を産モ其近隣不婦人島あり閩州男子ナ
惟冬春の間近島より男子を迎へて合歡モ其産
ナリや男子をとばえと近島ふ放つと云一説此
島を以て豪斯多刺里洲域中に入る何まう是る
を知らズ

「マリア子シヌアドロ子」と云是近傍十五島及

び三十餘の小嶼を總べ云々近世皆伊斯把
泥亞國小属を土人天資眷恩ハナツケンにて中心狡猾
半ハ海賊と生スル故小西人或ハ呼メテ賊島と
云一説ふ曰往古西洋人始ハて此地小舶を寄
マシト凡其ハシマ所持する鐵器及び數種の物件と
土人の為ハシマ竊ハシマり故小當時盜島の名あり後
混ハシマドて國名とを產物沙糖最好冰糖丁香石炭
及ハシマび些少の穀物一本此島嶼ハシマ以て又豪斯多
刺里ハシマ州中ハシマ入ル暫く疑ハシマり存スルて後の學

者と俠つ

臺灣ハシマ一名「ヲルモザ」往古和蘭ハシマ属スル今ハ支那
の福建府ハシマ隸スルそと云其地西北の部能く五穀
と産スル土人愚直ハシマて愛憐ハシマの情あり其都と
臺灣府ハシマと云閩州廣袤里方一千六百八十一民
口二百二十萬產物金銀銅冰糖木綿石灰鹽煙
草吉貝

○次卷豪斯多刺里之部

出來

萬國輿地圖說 亞細亞終

